



第二中だより

No. 572

開校 54周年

生徒数 449名

令和2年10月1日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢1番4号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



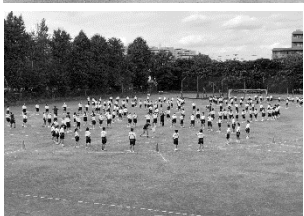
「挨拶から全てが始まる」

校長 橋本 真

「勉強にじっくり取り組める秋」、「スポーツの秋」、「芸術・読書の秋」でもあります。1年生・2年生の学年毎の体育祭も終わり、三葉祭の準備も始まりました。3年生は、進路選択が間近に迫り2年生と1年生は10月3日・4日から始まる朝霞地区新人体育大会に向けて頑張っています。剪定

爽やかな感動とドラマがあった体育祭

今年の体育祭は9月11日に1年生が、9月30日に2年生がそれぞれ学年毎に開催しました。種目を絞り込み短時間の中で実施しましたが、昨年とは違った爽やかな感動を生み、ひとりひとりが輝いた体育祭になりました。保護者の皆さんにご披露できなかったことが心残りです。3年生は10月29日の5・6校時開催となっております。



挨拶は、相手の心に迫る

始業式より、朝正門に立って、生徒の皆さんに挨拶をしています。数日経つと、生徒の皆さんから挨拶されるようになってきました。今では、積極的で元気な挨拶が変わってきました。私は、とても嬉しく思っています。漢字の「挨拶」という字は、仏教用語から来ていて、本来の意味は「相手の心に迫る」というような意味があるそうです。「相手の心に迫る」ということから言い換えると、「私はあなたの存在を認め、受け入れますよ」という解釈も出来るということです。毎年3年生の面接練習をしています。高校の志望理由を問うと、「高校を訪問したときに、



学校の生徒さんが、とても爽やかな『挨拶』をしてくれたので良い印象をもったからです」という答えが多く返ってきます。『挨拶』は、相手の人に与える印象がとても大きいものなのです。挨拶には、人と関わる上で重要な役割があります。それは「人の心を開き、その心に近づく」という力を持っているそうです。

皆さんも和光二中来校される人に対して、このように爽やかな『挨拶』をして良い印象を持たせることが出来ると素晴らしいと思います。『挨拶』の大切さを感じて、実践出来る二中学生になってほしいと思います。



挨拶が持っている力とは

- 存在を認めているということを示せる
「心を開く」＝「存在を認めている」
- 仲良くなるきっかけになる
挨拶は、仲良くなるための最初の一步。
- 緊張をほぐせる
何気ない挨拶が、勇気づける一言になる。

朝霞地区新人体育大会に向けて

過日、水泳の朝霞地区新人戦が行われました。結果は、総合優勝という大きな成果を挙げました。おめでとうございます。今日も多く部の活動は、10月3日(土)からの新人戦に向けて体育館で、グラウンドで練習に励んでいます。2年生は、部活動の最高学年として、1年生は入部してから初めての公式戦となります。練習で鍛えた「技術・体力・心」が輝き、一生懸命のプレー、そして学ぶ姿勢が際立ったゲームを期待しています。限られた活動時間の中で培ってきた成果を発揮できるよう、残り僅かな期間ですが、頑張ってください。